

非営利のJSCは真のジュエラーの姿を追い求め、専門知識を相互教育により高めることを目的とし平成6年に発足しました。

☆☆☆2019春季研究会☆☆☆

水晶（石英）は地殻を構成している主要造岩鉱物で、地球上ではきわめてありふれた鉱物と言える。六角柱状の水晶（Rock crystal）は古くから人々の注意をひきつけ、クリスタルの語源となった。その組成（SiO₂）は単純であるが、構造中にはらせん軸を持つため、左右像や旋光性などの性質が現れる。天然水晶は高温から低温の幅広い環境下で生成しているため、その形、色、インクルージョン、共生鉱物など、実に多彩である。また、水晶は電子デバイスとして重要な結晶であるため、今日では人工的に水晶が生産されている。

今回の研究会では宝石の基本とも呼べる水晶に注目し、天然水晶と人工水晶を対比しつつ、水晶の特徴、多様な形、地球に水晶が多い理由、人工育成などについて述べる。また、講演後に実物を見ながら、議論する時間を設ける。

記

日時 平成31年4月27日 17時半受付開始 18時～20時
 会場 O M M ビル（大阪マーチャндаイズ・マート）石ふしぎ大発見展会議室
 大阪市中央区大手前1-7-31 TEL 06-6943-2010

テーマ 水晶の世界—天然と人工、その生い立ち—

講師 川崎雅之博士（理学） 宝石学会（日本）会員 千葉大学卒、東北大学大学院理学研究科では理学部岩石鉱物鉱床学教室（現・地球惑星物質科学教室）の鉱物学講座に所属し、砂川一郎教授（故人）に師事した。
 民間企業で主に人工水晶の育成・評価に従事している。

会費 1,000円

..... 申し込み書

氏名 _____ 住所 〒 _____

Tel _____

e-mail _____

業種（メーカー 卸 小売り 加工 デザイナー 鑑別 教育 貿易 その他 _____）

勤務先 _____

◇研究会 参加 不参加

◇会員 会員外